

むかし話のあらすじと、正しい「だい名」をせんでむすびましょう

1

一つ目の大男に、たべものなどをとられてこまっていたむらの人たちは、大男をこらしめようとさくせんを考えました。

•

• うらしまたろう

2

おやゆびほどの大きさの男の子が「さむらいになる」といって、京のみやこに出ていきました。つかえてある家のおひめさまがおににさらわれましたが、おにたいじをしておひめさまをたすけます。

•

• わらしべちょうじや

3

まずしいけれどまじめなわかものが「かんのんさま」にびんぼう生活からぬけだしたいとねがいしました。かんのんさまからおつげをもらい、おつげどおりに行動すると、色々なことがおきました。

•

• だんだらぼっち

4

りょうしのわかものが、はまべで子どもたちにいじめられているかめをたすけてあげました。かめはおれいにと、わかものを海の中のりゅうぐうじょうにつれていきました。

•

• いっすんぼうし

